

A Case of the Week

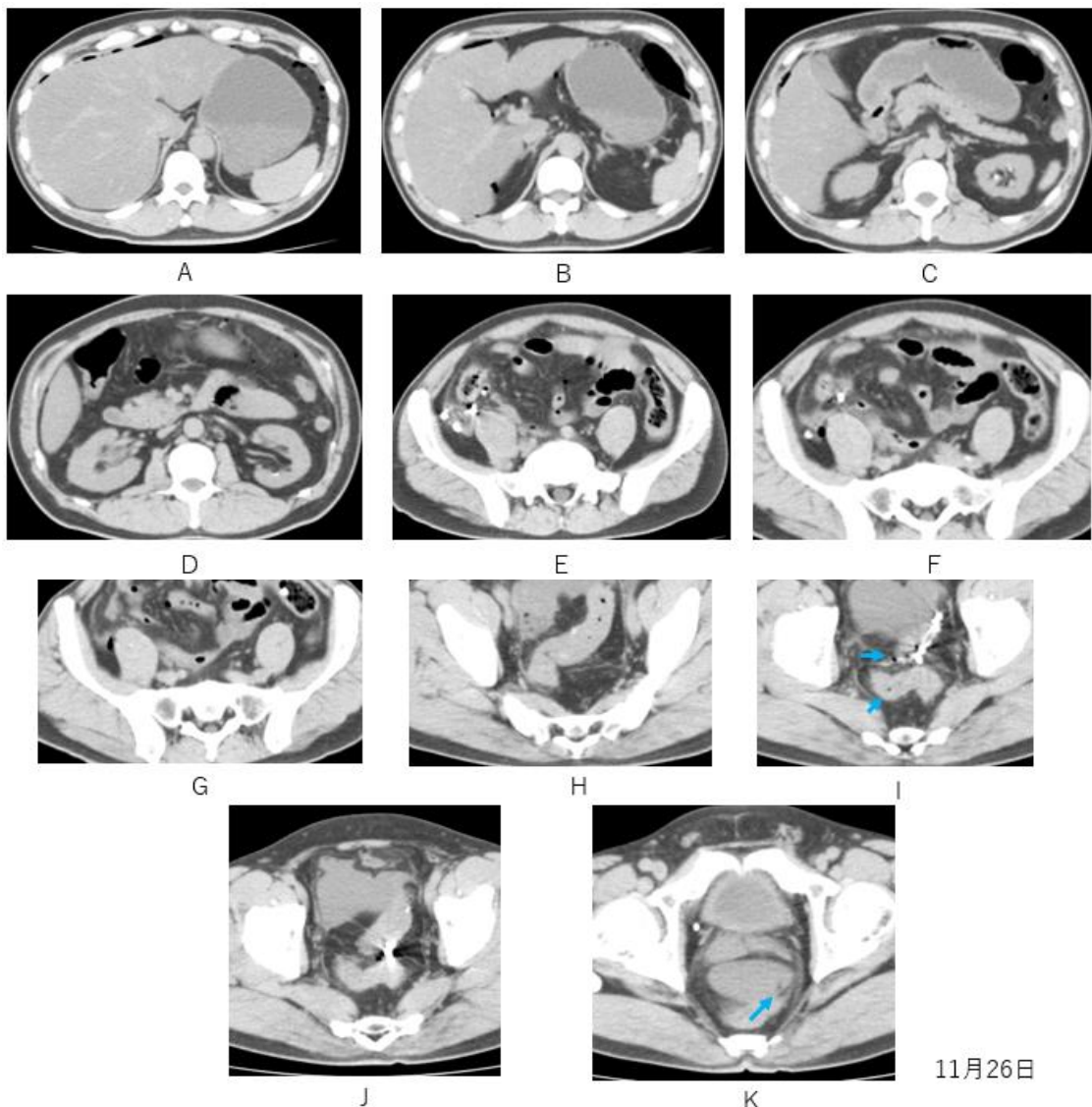
Case 428

消化管狭窄

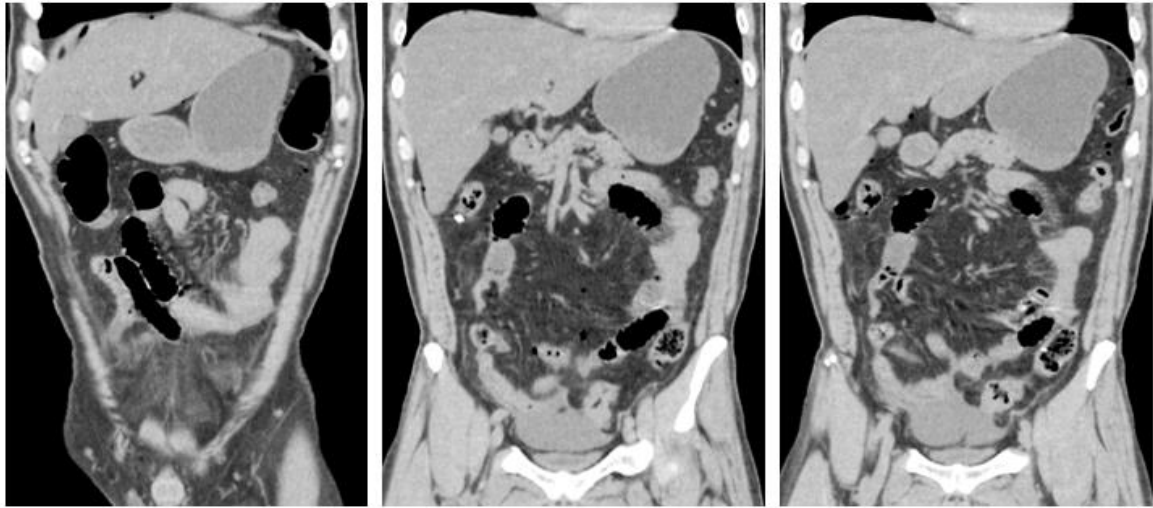
消化管Free air ：術前 穿孔部位同定困難free air

free air

上部消化管ではなく 虫垂炎からでもなく S状結腸憩室からだった
Free air は少なかったが 虫垂の下方にも存在していた



遊離ガスが横隔膜下、モリソン窩 腸間膜に認められる。腹水内に微量のガスが認められる。S状結腸に近接して遊離ガスが認められる。



A

B

C

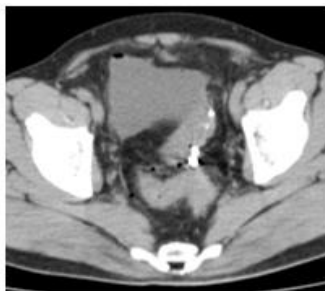


D

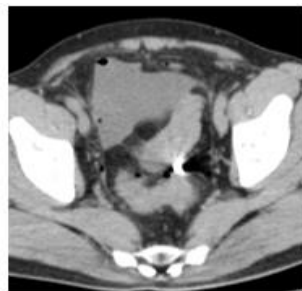
E

11月26日

横隔膜下、肝下面 腸間膜に遊離ガスが認められる。S状結腸の憩室内バリウムに近接して遊離ガスが認められる。



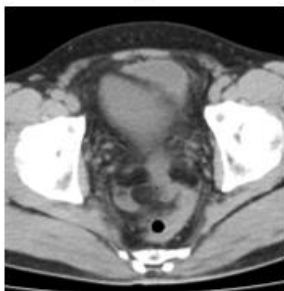
A



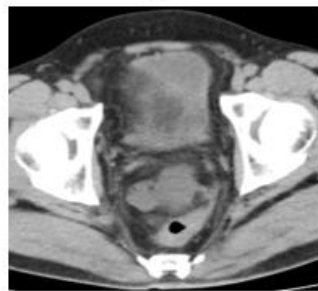
B



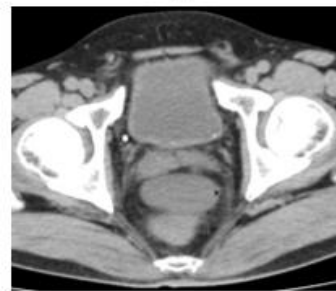
C



D



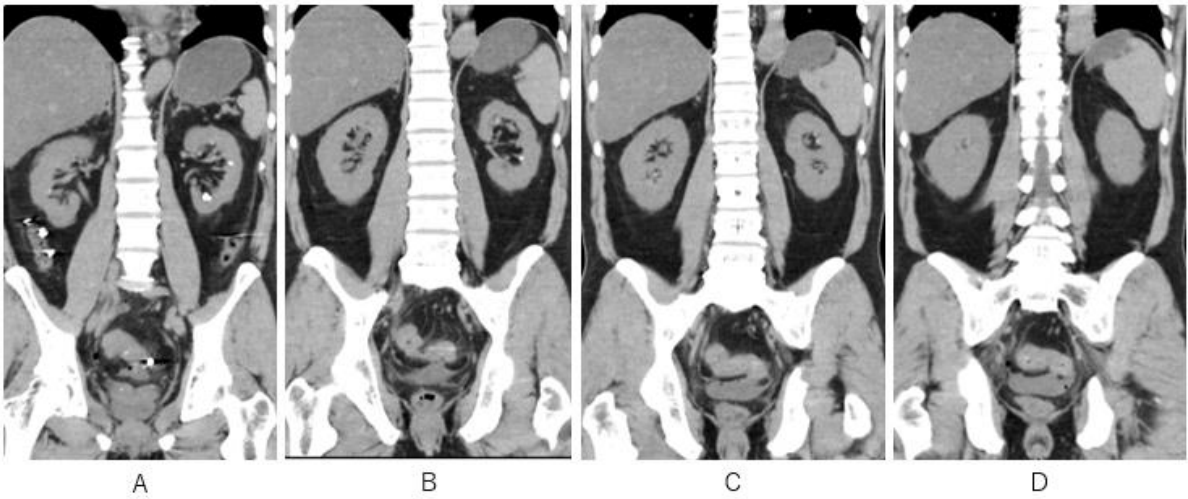
E



F

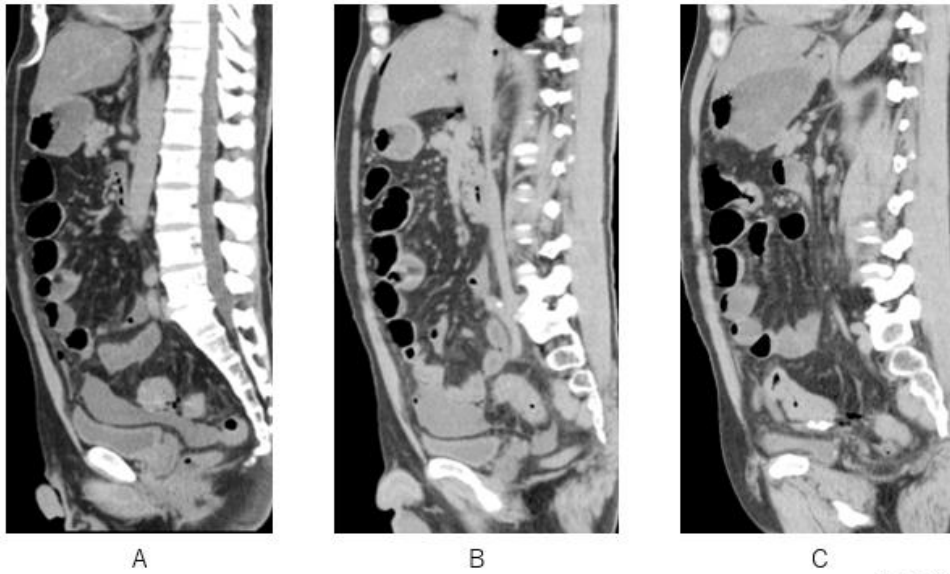
11月27日

翌日のCTで、遊離ガスは腹膜腔内腹水内とダグラス窩、S状結腸の憩室のバリウムに近接して認められる。ダグラス窩と腹膜腔間の交通路が認められる。



11月27日

翌日、遊離ガスはS状結腸の憩室内バリウムに近接して認められる。
ダグラス窩に認められる。



11月27日

翌日、ダグラス窩と腹膜腔間の交通路に腹水の貯留が認められる。遊離ガスが腹膜腔とダグラス窩に認められる。

診断

- CTの感受性高い > Abdominal radiograph(腹部X線)

診断の必要性

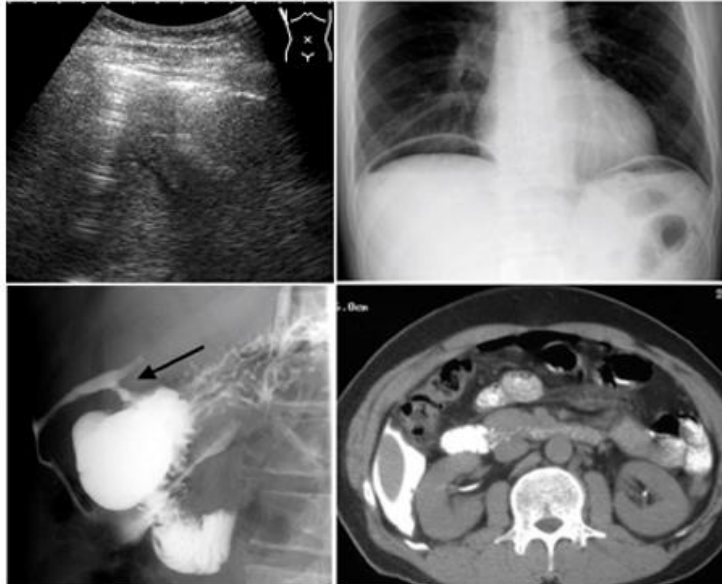
腹膜炎 — 敗血症 — 多臓器不全



40代、男性。
急性腹症

腹腔内に漏れ出た
造影剤（ガストログ
ラフィン）は肝周囲
に広がっている

インターネット症例



腹腔内遊離ガス Free Air = Pneumoperitoneum

- **消化管内** — 感染を誘発
 - 胃十二指腸潰瘍
 - 憩室炎
 - 虫垂炎
 - 宿便からの穿孔
 - クローン病 潰瘍性大腸炎
 - 腸管壊死
- **消化管外** — 臨床上問題とならない
- 腸管気腫症 pneumatosis cystoides intestinalis
(医原性 回復手術後 内視鏡手術後)
- 卵管や子宮の炎症疾患から
- 外傷、縦隔気腫から食道裂孔を介して流入

本例のFree Air

本例のFree air は 右下腹部に多くみられ、最下端は骨盤腔

— S状結腸由来だった

- 上部消化管ではなく 虫垂炎からでもなく S状結腸憩室からだった
- Free air は少なかったが 虫垂の下方にも存在していた

CTでの診断

病気の頻度や種類から入るのではなく まず、

- Free air の多く発生する部位
- Free airの最下端部位
特に air は 上向するので、もっとも下位のガス像に注目

English page

2026.4.3